Ｎｏ.１

令和２年１２月１４日（月）

第8回スピーチ集会

沃野（よくや）

竹富町立
船浦中学校
学校便り
第31号

発行責任者
校長
仲田欣五

「高校見学」
（２年　渡辺はるか）

私は２週間ほど前、学校見学のために実家に帰省しました。２校見学したうち、１校は東京の赤坂にある私立の山脇学園という女子高等学校、もう一校は実家の近くにある私立で共学の江戸川学園取手高校です。今回は東京の山脇学園の話をします。

山脇学園は、ＴＢＳ本社のすぐ近くにあり、修学旅行では西表でマングローブ等について学ぶコースもあります。学園の施設はどこもきれいですが、地価が高いので校舎の上にグランドがあったり、体育館が３階にあったりと、土地を極限まで有効活用しています。かわいいブレザーの制服ときれいな設備の整ったいい学校です。

特に私が驚いたのは、教室の設備です。例えるなら、受験シーズンのＣＭのシーンでよく出てくるような階段のような地形で、イスが映画館のように固定されているのです。三角座りがしようにもできない、床を傷つけない工夫に感心しました。

マングローブについて学ぶコースの教室に行くと、上原小の理科室のような机がたくさんあり、その一角に父の研究室にあるような機械が置いてありました。所々にマングローブや見たことのない植物が置いてありました。本格的だなぁと思いましたが、噂によると机の引き出しの中には学生が放棄した実験道具がごっそりと詰まっているそうです。整理整頓が課題なのは、船中も山脇学園も一緒だなと思いました。

校舎のろうかや広場の至る所に観葉植物が植えられていました。ビルや住宅の多い市街地では、たくさんの緑を見ることができないからだと思います。西表にいると、生活になじみすぎて意識することない自然ですが、ありがたいことなんだと改めて実感しました。

今回の高校見学で、船中には船中の、他校には他校の良さががあるんだと思いました。皆さんも志望校を決めるときはよく考えて決めてください。

最後に、山脇学園の先生たちのこぼれ話を聞きました。受験に受かるコツは、面接の時いかに自分の本音を簡潔に話せるかがポイントらしいです。今の３年生は受験がもうすぐなので頑張ってください。

＜振り返り＞（渡辺はるか）
今年はあまり計画的にできず、後半になってあわてたので来年は気をつけたいです。ということを去年も行った気がするので．．．。

「妹と私それから弟」
（１年　津嘉山莉央）

私が小学５年生のときに、初めての妹ができました。それから私の生活は一変しました。

今までは、いとこと遊んだり、テレビを見たりなど、なんとなく過ごしていました。しかし、妹ができてからは、妹と一緒に遊んだり、お風呂に入ったりなど、一日中妹と一緒に過ごしていました。

妹といると、色々な発見があります。一つ目は物覚えが早いことです。妹は私たちの何げない会話を聞いて内容を覚えています。妹の物覚えの良さには、私だけでなく、祖母もびっくりしていました。

二つ目は人見知りをすることです。妹は慣れている相手なら、照れながらだけどハイタッチをします。しかし、慣れていない相手なら、不安を抱えながら困った表情をするのです。

三つ目は好きな人がいることです。母から聞いた話ですが、妹には好きな人がいるそうです。私はそれを聞いて驚きました。「この年で好きな人ができるんだな。」と思いました。そんな妹がかわいくてたまりません。

しかし最近、妹と話をしていてたいへんなことがあります。よく「何で？」とか、何かを教えるときに、高い声で「ん？」と聞きます。その時私は、分かりやすく説明をしますが、「なんで？なんで？」とさらに聞き返されてしまいます。最終的に説明ができずにどうしたらいいか困ってしまいます。けれど、妹の声のトーンがかわいくて更に教えたくなります。

私は、妹ができて将来の夢が変わり、保育士になりたいと思うようになりました。そして何より、妹のおかげで家がとても明るくなりました。さらに、新しく家族が増え弟ができました。弟は未熟児で生まれたため、障害を持ったり、死んでしまう不安がありました。でも、一つの命として生まれてきてくれたことに感謝したいです。だから私は、姉としての責任を果たして妹と弟の成長をこれからもずっと見守っていきたいです。

＜振り返り＞（津嘉山莉央）
題名は決まっていたのですが、話す内容が決まっていなかったので、次は早めに決められるようにしたいです。